

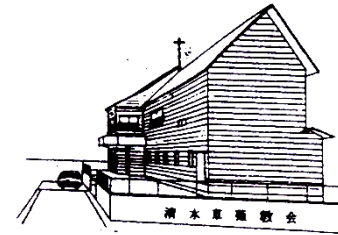
《今朝のみ言葉から》

聖書は、長い時間を経て人から人へと伝えられました。教会もそのために全力を尽くしてきました。人による間違いが聖書に入り込まないように、信仰の書物として、正しく訳されてゆくように、言葉を学ぶところからはじまり、今も続けられています。しかし、コピー機もない時代、手で書き写されることが繰り返されているうちに、“ここが抜け落ちたんじゃないか”と思えるような個所が出てきています。発見される古い聖書の中には、異なるところがいくつか、というよりも沢山あります。

“異文資料”と呼ばれているようなものです。今朝の“心の貧しい”という個所についてもたくさん議論がなされました。聖書を保管できた人々は、そんなに貧しくはなかったのもともと、ルカ6:20には“あなたがた貧しい人たちは、さいわいだ。神の国はあなたがたのものである。”とあるように“貧しい人は幸いである”という個所を、“心において貧しい”という意味に解釈し、“心の”という言葉をつけ加えた、というのです(今朝の個所全体を見てもこんな事はなかったとされています)。どのような議論があったにせよ、今朝の個所は実に魅力的な言葉です。今朝のみ言葉をみましょう、(人は経済的なこと、仕事を比べるのを好みますが)恵まれているのに、悩んで、いらだち、人を信頼できなくなっていたら、魂の豊かさ(マカリオス)を自ら拒否していることになるでしょう。また貧しさに関係なく、感謝し、財を尽くして、奉仕し、捧げものに励むなら、魂において豊かだというみ言葉が与えられるでしょう。注意しなければならないことは、今朝の“至福の言葉”と呼ばれているところですが、“やがてやってくる”神の国に参加できる、とういうことと同様に、今生きて働いている信仰者として、現実の生き方を、王なるイエスが教えていることに着目しましょう。神の前で貧しくあるということに、神の恩恵を指し示しているのか。または、幸福になるためには、ここに掲げられた、八つのマカリオス(10節まで)のための行いとして命じているのか。命令であると同時に、十誡が、そうであるように、イエス様における福音の契約なのです。

週報

2009年 2月 8日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp